

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
22101	公衆衛生学 Public health program	根間 健吉	専門基礎	2	必修	2年前期
科目の概要						
公衆衛生とは組織化された地域社会によって人々の健康対策を図ることである。すなわち地域社会の協力によって衛生的な環境を整え病気を予防し、寿命を延ばし、生活の質を高めることを目的としている。そのためには先ず、人々の健康が自然・社会・文化的環境と強く関わっていることや、何よりも地球環境の保全が健康長寿を延伸するうえで不可欠であることを認識しなければならない。この授業では健康の指標、生活環境の保全、母子保健や学校保健及び産業保健について学修し、ヘルスプロモーションの進め方の技法を習得する。また、栄養士に必要な科学的根拠に基づいてものごとを判断する能力を身につける。						
学修内容			到達目標			
① 人々の健康と自然や社会的環境との関わり及び現代社会の地球環境に及ぼす影響について知る。			① 人間の健康を組織的に保ち増進する公衆衛生活動の概要と、生活環境保全に向けて何をすべきかを理解することができる。			
② 人の健康に影響するさまざまな要因と公衆衛生関連施策の対応について知る。			② 人の健康に影響する要因と、集団検診の意義や問題点、疫学の特徴を理解することができる。			
③ 感染症の成立要因と伝播様式を理解し、その発生予防やまん延防止の方策について知る。			③ 感染症の成立要因と伝播様式を理解し、代表的な感染症について流行の特徴や予防対策を説明できる。			
④ 健康の指標や生活習慣病の現状及び健康教育とヘルスプロモーションについて知る。			④ 乳児死亡率、周産期死亡率、祖死亡率、生活習慣病の概念を理解し公衆衛生対策との関連を説明することができる。			
⑤ 母子保健、学校保健、産業保健の現状や課題、取り組みの方向性について学修する。			⑤ 母子保健や学校保健及び職業病から労働者を保護する枠組み等、労働安全衛生について理解することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す	主体性	人間生活が地球環境にどのような影響をもたらしているかについて、必要な文献および資料を検索して取り組むことができること。				
	働きかけ力					
考へ抜く	実行力	「健康・医療・介護・福祉」に関する学修内容に関して、提出期限までにレポートを仕上げするための手順や方法を考えて作業を進めることができること。				
	課題発見力	感染症の成立要因と伝播様式について情報を客観的に整理し、課題を見つけ出し、その発生予防や蔓延防止対策について推察することができる。				
チームで働く	計画力					
	創造力	健康教育とヘルスプロモーションについて物事を考えるときに、固定概念にとらわれず、多角的に考えることができること。				
	発信力	新聞から「社会生活と健康」に関する聞記事を見つけ出して収集し、整理した内容を的確にわかりやすく説明できること。				
	傾聴力	「健康・疾病・行動に関わる統計資料」について、人の意見を確認し、その中で新たなことに気づき、さらに自分の意見を建設的に述べるができること。				
	柔軟性					
チム働	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができること。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「わかりやすい公衆衛生学(最新版)」清水忠彦他編集(ヌーヴェルヒロカワ) 価格 2,200 円+税 参考文献:「国民衛生の動向、国民福祉の動向、厚生労働白書の各年版」(財団法人厚生統計協会、第一出版ほか)						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:社会福祉概論、公衆栄養 資格との関連:栄養士(管理栄養士)、医事管理士、医療管理秘書士						
学修上の助言			受講生とのルール			
新聞やテレビなどで報道される健康関連のニュースに注意を払い環境問題や「保健・福祉・医療・介護」に関する情報を得て、自分なりの考えをまとめて授業に臨んでください。			新聞から学ぶ授業を推進するので、関心を示す記事について収集し感想をまとめてください。また、レポートの提出期限は守ってください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	<p>人の健康に影響する要因と、集団検診の意義や問題点、疫学の特徴について理解できていること。</p> <p>感染症の成立要因と伝播様式を理解し、代表的な感染症について流行の特徴や予防対策が理解できていること。</p> <p>健康に指標である乳児死亡率、周産期死亡率、祖死亡率、生活習慣病の現状とヘルスプロモーションの概念について理解できていること。</p> <p>保健・医療・福祉について総合的に現状や問題点を把握できていること。</p> <p>母子保健の現状や学校保健における専門職の役割及び職業病から労働者を保護する枠組みについて理解できていること。</p> <p>全国栄養士実力認定試験の「B 評価」以上の基礎的知識の修得を基準とする。</p>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート	20	①	✓	<p>学修内容①～⑤に係る新聞記事を 10 件収集し、それぞれ 300 字以内で感想や意見をコメントして提出することができること。</p> <p>具体的な作成要領は授業で示す。新聞記事に対して自らの考えや意見が記述されていること。また、収集した資料に一貫性があり、しかも系統的に整理されていること。</p>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	<p>レポートを基に 15 週目にショートスピーチを行う。わかりやすく聞き手に伝えることができること。</p>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		<p>「主体性」人間生活が地球環境にどのような影響を与えているか、指示がなくても必要な文献および資料を検索して取り組むことができること。</p> <p>「実行力」健康・医療・介護・福祉に関する学修内容に関して、提出期限までにレポートを仕上げるための手順や方法を考えて進めることができること。</p> <p>「課題発見力」感染症の成立要因と伝播様式について、事実に基づいて情報を客観的に整理し、発生予防や蔓延防止の課題を見極めることができること。</p> <p>「創造力」健康教育とヘルスプロモーションについて、これまでの固定概念にとらわれず、多角的に考えることができること。</p> <p>「発信力」新聞から「社会生活と健康」に関する情報を見つけ出し、内容を整理して的確な文章又は口頭で説明できること。</p> <p>「傾聴力」健康・疾病・行動に関わる統計資料について、人の意見を確認し、新たなことに気づき、さらに自分の意見を建設的に述べるができること。</p> <p>「規律性」無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができること。</p>
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価割合	100		✓	筆記試験、毎週のワークシート、発表及び授業態度の成績を総合的に評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>★健康を保ち増進するための公衆衛生活動について理解し説明できること。(①)</p> <p>★人の健康に影響する要因を理解し、大気・水質・土壌等、環境保全の重要性について説明できること。(②)</p> <p>★感染症の成立要因と伝播様式を理解し、流行の特徴や予防対策を説明できること。(③)</p> <p>★母子保健、学校保健、労働衛生及びヘルスプロモーションの概念や活動について説明できること。(④)</p> <p>★栄養士実力認定試験ガイドラインで示す基礎的知識を的確に説明できること。(⑤)</p> <p>S(秀) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤</p> <p>A(優) = ① + ② + ③ + ⑤</p>	<p>★公衆衛生活動の意義を理解し(①)、大気・水質・土壌等、環境保全の重要性について説明できること。(②)</p> <p>★感染症の成立要因と伝播様式を説明できること。(③)</p> <p>★母子保健、学校保健、労働衛生の概念や活動について説明できること。(④)</p> <p>★栄養士実力認定試験ガイドラインで示す基礎的知識をある程度習得していること。(⑤)</p> <p>B(良) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤</p> <p>C(可) = ① + ③ + ④</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	(ガイダンス) 授業の概要と進め方、健康を保持・増進するための公衆衛生の意義を学ぶ。	講義	健康と自然・社会・文化的環境との関わりの中で、人々の健康を保ち増進するための公衆衛生の意義を説明できる	(復習)人々の健康を保ち増進するための公衆衛生の意義について復習すること。 (予習)現代の健康影響の問題点について調べること。	180	主体性
2週 /	(健康と環境・疫学方法) 現代の健康影響の諸問題、生態学的環境(エコロジー)物理・科学的環境、社会的・文化的環境、集団の特性を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	エコロジー、社会的文化的環境、集団の特性、集団検診、疫学の種類と特徴について説明することができる。	(復習)社会的文化的環境、集団の特性、集団検診、疫学の種類についてまとめること (予習)国勢調査の概要について調べること。	180	主体性 課題発見力
3週 /	(健康の指標) 人口問題、人口動態統計、健康状態と受領状況について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	国勢調査の概要や死亡率、乳児死亡、周産期死亡、生命表など疾病統計を把握し、国際比較しながら説明できる。	(復習)国勢調査の概要や死亡率、乳児死亡、周産期死亡について国際比較して復習すること。 (予習)感染症の成立要因、感染症の種類を調べること。	180	主体性 課題発見力
4週 /	(感染症とその予防) 感染症の成立要因、感染症の種類、感染症予防の基本、主な感染症、感染症の動向と感染症法について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	感染症の成立要因と伝播様式を理解し、発生予防やまん延防止の方策について説明することができる。	(復習)HIV、AIDS、結核などの主な感染症の種類とその成立要因及び伝播様式を復習すること。 (予習)地球温暖化、大気汚染、水質汚濁の現状について調べること。	180	主体性 創造力 規律性
5週 /	(生活環境の保全) 現代の環境汚染の特徴、地球温暖化とその対策、日本の環境保全対策、生活環境の安全、ごみ・廃棄物の処理について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	地球温暖化、大気汚染、水質汚濁、飲料水の安全など、現代人の生活が地球環境に与える影響について説明できる。	(復習)日本の環境保全対策、生活環境の安全、ごみ・廃棄物の処理について復習すること。 (予習)国民皆保険制度、医療保障制度、被用者保険、診療報酬のしくみを調べること。	180	主体性 傾聴力
6週 /	(医療・介護の保障制度) 医療保障制度、医療保険、高齢者医療制度、公費負担医療、介護保険について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	国民皆保険制度、医療保障制度、被用者保険、診療報酬のしくみ、介護保険について説明できる。	(復習)医療保障制度、介護保険制度の特色、目的と内容について復習すること。 (予習)保健所の機能と役割について調べること。	180	主体性 実行力
7週 /	(地域保健活動) 地域保健法の理念と指針、医療サービスの供給体制、マンパワー、救急医療と災害医療、について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	保健所の機能、介護老人保健施設、ヘルスサービスの方向性、地域保健の課題について説明できる。	(復習)地域保健法の理念と指針、医療サービスの供給体制についてまとめること。 (予習)母子保健の現状について統計資料を参考に予習すること。	180	主体性 課題発見力
8週 /	(母子保健・生活習慣病) 歴史的経過、統計からみた母子保健の現状、生活習慣病の概念と現状について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	統計からみた母子保健、母子保健の現状、母子保健の新たな課題、生活習慣の改善と健康について説明できる。	(復習)母子保健の現状、生活習慣病の概念と現状についてまとめること。 (予習)学校保健制度の仕組み、学齢期の健康状態を調べること。	180	主体性 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	(学校保健) 学校保健制度の仕組み、学齢期の健康状態、学校環境衛生、学校給食、学校安全について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	学校保健の概要と学齢期の健康状態、学校における感染症予防、学校安全について説明できる。	(復習) 児童生徒の健康状態、学校保健対策やいじめ、自殺、不登校などの現状、学校保健制度の仕組み、学校環境衛生、学校給食、学校安全についてまとめること。 (予習) 労働災害とは何か、防止対策は何かを調べること。	180	主体性 規律性
10週 /	(産業保健) 健康に影響を及ぼす労働環境、労働による健康障害の状況、労働衛生管理の仕組み、職業病とその対策、THPについて学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	労働と健康、労働災害、熱中症や減圧症などの職業性疾患及び産業保健に関して説明できる。	(復習) 熱中症や減圧症などの職業性疾患について復習すること。 (予習) 大気汚染、水質汚染を防ぐために個人として何ができるかまとめること。	180	主体性 創造力
11週 /	(環境と健康①) 大気汚染、水質汚染、土壌汚染、騒音などの公害及び地球温暖化、酸性雨など環境汚染や公害対策を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	大気汚染、水質汚染、土壌汚染、騒音などの公害及び地球温暖化、酸性雨など環境破壊と健康対策について説明できる。	(復習) 大気汚染、水質汚染、土壌汚染、騒音などの公害及び地球温暖化について復習すること。 (予習) 居住地区の生活環境やゴミ収集、廃棄物処理の状況を調べること。	180	主体性 発信力
12週 /	(環境と健康②) 上下水道、住居環境、廃棄物、動物由来感染症、衛生害虫、放射線など、環境衛生と健康について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	上下水道、住居環境、廃棄物、動物由来感染症、衛生害虫、放射線と健康について説明できる。	(復習) 上下水道、住居環境、廃棄物、動物由来感染症、衛生害虫、放射線など、環境衛生と健康について復習すること。 (予習) ヘルスプロモーションの概念及び栄養士の役割について調べること。	180	主体性 実行力
13週 /	(健康教育と栄養士の関わり) ヘルスプロモーションの概念や栄養士としての取り組み方について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	健康教育とヘルスプロモーションの概念やその取り組み方について、栄養士の立場から説明できる。	(復習) 健康教育とは何か、ヘルスプロモーションの目的、方法について復習すること。 (予習) 精神障害者の実態と置かれた現状について調べること。	180	主体性 傾聴力 規律性
14週 /	(精神保健福祉) 精神医療の歴史、法制度の変遷、精神保健福祉行政、精神障害者のリハビリテーション、精神保健の新たな課題について学ぶ。	講義 レポート提出 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	精神障害者の人権尊重について理解し、自殺や発達障害、アルコールや薬物依存など精神保健の新たな課題について説明できる。	(復習) 精神障害者の人権尊重に関する憲章や薬物依存について復習する。 (予習) 現代社会における生活環境と健康について予習すること。	180	主体性 課題発見力 規律性
15週 /	(これからの公衆衛生) 自ら作成したレポートを基にクラス全体でプレゼンテーションを行う。	発表 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	地球環境や生活環境及び課題への対応、倫理と社会規範等、公衆衛生活動について説明できる。	(復習) 地球環境への対応、当面の課題への対応、倫理と社会規範など今後の公衆衛生のあり方について栄養士の視点から復習すること。	180	主体性 規律性 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力